

## RSM の環境への取り組み：2023 年グローバルカーボンフットプリント報告書

RSM 清和監査法人



**Ernest J. Nedder**

**Chief Executive Officer, RSM International**

RSM における私たちの「パーパス（存在意義）」は、変化の時代に自信を与えることです。

この理念は、私たちのビジネスのあらゆる側面、戦略やソリューションからガバナンス、行動様式に至るまで、を導く原則であり、私たちの人材、クライアント、サービス、そして地域社会へのアプローチを形作っています。

このパーパスに基づき、私たちは環境問題、社会的行動、ガバナンス（ESG）に関する要素を組織の中心に据えています。

### はじめに

気候変動の影響がますます現実的なものとなる中、正確なカーボン排出量の測定と、迅速かつ効果的な気候対策の必要性が高まっています。RSM は、世界 100 か国に展開するメンバーファームを対象に、グローバルな企業カーボンフットプリント（CCF）を算出しました。この取り組みは、各地域の固有の事情や、統一された国際報告基準が存在しない中での挑戦でもありましたが、気候行動に対する RSM の強い意志を示すものです。

この報告書には、500 以上のオフィスと 47,000 人以上の従業員を含むすべての RSM メンバーファームの活動が反映されています。RSM は、2030 年までのグローバル戦略の一環として、すべてのファームが責任あるビジネス慣行を実践し、カーボン削減のベンチマークと目標を設定できるよう支援しています。

グローバルな排出状況を可視化することで、共通点を見出し、ベストプラクティスを共有し、地域ごとの事情を尊重した柔軟かつ効果的なアプローチを可能にします。これにより、統一されたグローバルなインパクトの創出が期待されます。

RSM は、社員や各ファーム、そしてそのクライアントや業界全体を巻き込みながら、この時代最大の課題のひとつである気候変動に立ち向かうことに情熱を持って取り組んでいます。

オリジナルの原文（全文）については、[RSM global website](#) をご参照ください。

## 📊 主な結果

- ・ 総排出量：120,402 tCO<sub>2</sub>e
- 欧州の平均的な市民 13,839 人分の年間排出量に相当
- 非電気自動車で約 3.7 億 km 走行した場合の排出量に相当
- ・ 排出内訳：
  - Scope 1（直接排出）：8%
  - Scope 2（電力などの間接排出）：24%
  - Scope 3（通勤・出張などのその他間接排出）：68%

## 🔍 排出の主な要因（ホットスポット）

- ・ 従業員の通勤：33%
- ・ 事務所の電力使用：23%
- ・ 出張（ビジネストラベル）：26%
- ・ 上流の燃料・エネルギー：9%

## ✂️ 今後の取り組み

- ・ データ品質の向上：より正確な排出量の把握と削減目標の設定を可能に。
- ・ 再生可能エネルギーの導入促進：Scope2 排出の削減を目指し、導入企業数は前年比 12%増。
- ・ 報告範囲の拡大：2024 年には「購入品・サービス」も Scope3 に追加予定。
- ・ 教育と支援：2025 年にはネットゼロ戦略や科学的根拠に基づく目標設定に関する教育を提供。

RSM は、グローバルネットワーク全体で持続可能性の成熟度を高め、責任あるビジネスの実践を推進しています。私たちは、クライアントの皆様とともに、より良い未来のために行動し続けます。

以上